

平成22年度

石巻市自然環境確認調査結果報告書



平成23年3月

石巻市

目次

第1	「自然環境確認調査」について	-----	1
第2	調査方法	-----	1
第3	調査経過	-----	1
第4	調査結果	-----	4
1	田代島	-----	4
2	追波沢川	-----	11
3	八景島	-----	23
4	上品山	-----	29
参考資料			
・	石巻市域における宮城県レッドデータブック掲載植物群落一覧	-----	39

※ 「レッドデータブック」とは、絶滅のおそれのある野生生物について国・県がまとめたものである。

第1 「自然環境確認調査」について

「自然環境確認調査」は、本市の多様で豊かな自然と共生していくため、開発等により変化していく地域の自然環境を正確に把握することを目的とした事業であり、石巻市環境基本計画のリーディング・プロジェクトの一つとして平成19年度から10年間にわたり実施することとしている。

第2 調査方法

1 調査地の選定

平成22年度は、本市の海岸・島嶼^{とうしょ}地域、平野地域及び山地・丘陵地域を調査した。

- ・ 山地・丘陵：上品山^{じょうぼんざん}
- ・ 海岸・島嶼：田代島^{たしろじま}、八景島^{やけいじま}
- ・ 平野：追波沢川^{おっばざわがわ}

2 調査方法

調査は、1箇所2、3時間で調査可能なコースを設定し、コースに沿って歩きながら観察を行い、確認した植物と自然度の高い森林群落を記録する。記録は、現地で自然環境確認調査票（現地確認用）に記載したものを自然環境確認調査総括調査票に整理する。

調査に当たっては、自然林の優占種となる高木樹種、常緑樹種、レッドデータブック掲載種（絶滅危惧種等）、開花・結実しているものに留意し、哺乳類、爬虫類、両生類、鳥類、魚類、昆虫類などの動物についても記録する。

群落については、その群落の主な構成種を階層別に記録する。

3 記録の整理

記録に基づいて調査地区の自然環境についての考察を行い、確認事項を整理する。

第3 調査経過

1 調査委員の委嘱

委嘱期間：平成22年の6月から11月まで

調査委員：次の3名の方々に委嘱した。

- ・ 中間温帯植物研究所 佐々木豊氏
- ・ 石巻専修大学工学部基礎理学科教授 根本智行氏
- ・ 石巻市環境保全リーダー6期生 佐藤堯氏

※ 環境保全リーダーは、市が環境教育や環境保全活動におけるリーダーとなれる人材を育成するため開催した講座を修了した者である。講座は、環境に関する専門知識や技術の習得について学ぶものとなっている。環境保全リーダーは、学校や町内会、職場、市民グループなどにおける環境保全活動を推進する人材として活躍している。

2 第1回検討会

調査委員に委嘱状を交付したあと、今年度の調査箇所、調査時期、調査内容等について検討した。

- ・開催年月日：平成22年4月23日（火）
- ・開催場所：石巻市役所本庁舎3階31作業室（環境課隣り）
- ・出席者：調査委員 佐々木豊氏、根本智行氏、佐藤堯氏
環境対策課 鷹見慶一郎（主幹）、阿部勤（主任主事）

3 第1回調査

- ・調査年月日：平成22年4月27日（火）・28日（水）
- ・調査場所：田代島
- ・参加者：調査委員 佐々木豊氏、根本智行氏、佐藤堯氏
環境対策課 福田寿幸（課長補佐）、鷹見慶一郎（主幹）

4 第2回調査

- ・調査年月日：平成22年5月21日（金）
- ・調査場所：追波沢川
- ・参加者：調査委員 佐々木豊氏
環境対策課 鷹見慶一郎（主幹）

5 第3回調査

- ・調査年月日：平成22年8月6日（金）
- ・調査場所：八景島（雄勝町名振^{なぶり}の沖にある無人島）
- ・参加者：宮城県文化財保護地区指導員 千葉松一郎氏
石巻市教育委員会雄勝公民館 安藤哲（副館長）
調査員 佐藤堯氏
環境課 鷹見慶一郎（主幹）

6 第4回調査

- ・調査年月日：平成22年9月17日（金）
- ・調査場所：追波沢川

- ・参加者：調査委員 佐々木豊氏
環境課 鷹見慶一郎（主幹）

7 第5回調査

- ・調査年月日：平成22年11月4日（木）
- ・調査場所：追波沢川
- ・参加者：調査委員 佐々木豊氏、佐藤堯氏
環境課 鷹見慶一郎（主幹）、齊藤沙知（主任主事）

第4 調査結果

1 田代島

(1) 調査地区の概要と調査の目的

田代島は、面積約2.7平方キロメートル、旧北上川河口から約15キロメートルの海上に浮かぶ離島である。海岸段丘が発達しており、最高点の標高は96.2メートルある。気候的には海洋性気候を示しており、タブノキ林、クロマツ林などが広く分布している。

田代島の植生については、平成3年度に石巻市文化財調査の一環として調査が行われているが、今回の調査は、前回までの調査で記録されていない植物を確認することと、前回までの調査以降の植生の変化について調査することを目的とした。



(2) 調査結果についての考察

調査は、次のとおりの経路で行った。

- ・ 大泊から電線の鉄塔の下を通過して二鬼城灯台まで
- ・ 二鬼城灯台から、途中で最高点のモミ林を観察しながら、林道沿いに一杯壇まで
- ・ 一杯壇から鹿島神社まで
- ・ 鹿島神社から猫神社手前の交差点まで
- ・ 猫神社手前の交差点から林道沿いに自然教育センター跡の下まで行き、大泊に折り返し

以前の調査で確認されていた暖温帯性のウラジロや宮城県が絶滅危惧Ⅰ類に指定しているホラシノブについては、現在も生息しているとともに生息域を拡大していることが確認できた。また、いままで田代島では確認されていなかったケハンノキ、ケキツネノボタン、タチタネツケバナ、オオシマザクラ、ウスガサネオオシマ、フラサバソウ、ノビル、ショウジョウスゲを確認することができた。

最高点のモミ林では、林床にモミの幼木が確認できず、タブノキの幼木が多く見られたことから、今後はタブノキ林に遷移していくことが考えられる。

島の中央部東側には谷沿いにケハンノキが群落を形成していることを確認した。

今回の調査では、天候の悪化により1日しか調査できなかったが、大泊地区については、ほぼ全域を調査することができた。仁斗田地区については、あらためて調査することとしたい。

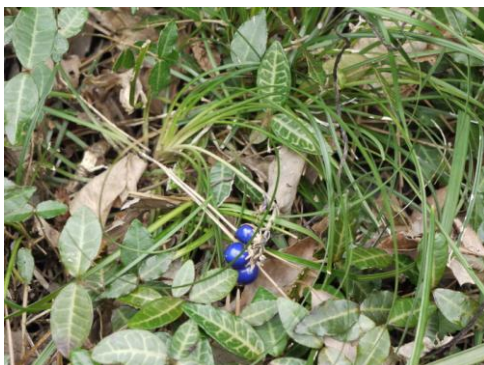
(3) レッドデータブック（RDB）掲載種について

今回の調査で確認できたRDB掲載種は、次のとおりである。

- ・宮城県絶滅危惧種Ⅰ類 ホラシノブ（ホングウシダ科）
- ・宮城県要注目種 イノデ（オシダ科）、オオシマザクラ（バラ科）、カジイチゴ（バラ科）、モチノキ（モチノキ科）

(4) 調査で確認した植物等の状況

・ ジャノヒゲ（実）



・ タチツボスミレ



・カキドオシ



・キツタ (実)



・ウラジロ



・ホラシノブ



・モミ林



・イノデ



・カジイチゴ



・ケハンノキ林



・道祖神のタブノキ林



・ウスガサネオオシマ



・チシマザサ



・ハイイヌツゲ



・シュンラン



・ヤマツツジ



・タブノキ林の林床のヤダケ群落



・調査風景



(5) 今回の調査で確認した植物一覧

ア シダ植物

科名	種名	花・実	備考
トクサ科	スギナ		
ウラボシ科	ウラボシ		北限
イワデンダ科	イヌガンソク		
コバノイシカグマ科	ワラビ		
ホングウシダ科	ホラシノブ		絶滅危惧 I 類 (宮城県)
オシダ科	ヤマイタチシダ		
	クマワラビ		
	トウゴクシダ		
	オクマワラビ		
	イノデ		要注目種 (宮城県)
イワデンダ科	クサソテツ		山菜としては名称はコゴミ

イ 種子植物

(ア) 裸子植物

科名	種名	花・実	備考
マツ科	モミ		
スギ科	スギ		

(イ) 被子植物

a 双子葉植物

(a) 離弁花類

科名	種名	花・実	備考
クルミ科	オニグルミ		
ヤナギ科	キツネヤナギ	花	
	バッコヤナギ	花	
カバノキ科	イヌシデ		
	ケハンノキ	実	
ブナ科	カシワ		
	ミズナラ		
	コナラ		
ナデシコ科	ミミナグサ		
	コハコベ		
	ミドリハコベ	花	
クスノキ科	クロモジ	花	
	タブノキ		
キンポウゲ科	ウマノアシガタ		
	ケキツネノボタン	花	
メギ科	メギ		
アケビ科	アケビ		
	ミツバアケビ		
ツバキ科	ヤブツバキ	花	
	ヒサカキ		
アブラナ科	タチタネツケバナ		
	ハナダイコン		帰化植物
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ		
ユキノシタ科	トリアシショウマ		
トベラ科	トベラ		
バラ科	アサギリザクラ	花	
	オオシマザクラ	花	要注目種 (宮城県)

科名	種名	花・実	備考
バラ科	カスミザクラ		
	ウスガサネオオシマ		
	モミジイチゴ	花	
	カジイチゴ	花	要注目種（宮城県）
	キジムシロ		
	ミツバツチグリ	花	
	ヤマザクラ		
	ヤブヘビイチゴ		
モチノキ科	ハイイヌツゲ		
	モチノキ		要注目種（宮城県）
スマレ科	タチツボスマレ	花	
	ニオイタチツボスマレ	花	
ミズキ科	アオキ	花・実	
ウコギ科	ヤツデ		
	キツタ	実	
セリ科	シヤク		
	ヤマゼリ		

(b) 離弁花類

科名	種名	花・実	備考
ツツジ科	ヤマツツジ	花	
ヤブコウジ科	ヤブコウジ		
キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	花	逸出植物
リンドウ科	フデリンドウ		
ムラサキ科	キュウリグサ		タビラコ
クマツヅラ科	ムラサキシキブ		
シソ科	カキドオシ	花	
	ヒメオドリコソウ	花	帰化植物
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ		帰化植物
	フラサバソウ	花	帰化植物
スイカズラ科	ガマズミ		
	ニワトコ		
キキョウ科	ツリガネニンジン		
キク科	エゾタンポポ	花	
	セイヨウタンポポ	花	帰化植物
	ウスギタンポポ	花	
	フキ		
	ヨモギ		

b 単子葉植物

科名	種名	花・実	備考
ユリ科	ウバユリ		
	チゴユリ		
	ヤブカンゾウ		
	ヤマユリ		
	ジャノヒゲ	実	
	オオバジャノヒゲ		
	アマドコロ	花	
	サルトリイバラ	実	
	ノビル		
ヒガンバナ科	キツネノカミソリ		
アヤメ科	シヤガ	花	
イグサ科	スズメノヤリ		

科名	種名	花・実	備考
タケ科	ヤダケ		
	チシマザサ		
イネ科	ヨシ		
カヤツリグサ科	ナキリスゲ		
	シバスゲ		
	ヒメカンスゲ		
	ショウジョウスゲ		
ヤシ科	シュロ		
サトイモ科	ウラシマソウ	花	
ガマ科	ガマ		
ラン科	シュンラン	花	
	サイハイラン		